

令和4年度 一人一人の確かな学力のために

2年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の確実な定着を図ります。字形に気を付けて、確実な習得を目指します。学期末の25問テストでは、90点以上を9割の児童の達成を目指します。また定期的に、小テストを実施し、間違えた漢字を自分で直し、繰り返し練習する習慣をつけます。 ・順序に気を付けたり、主語や述語を明らかにしたり、自分の意見や考えを書いたりすることができる児童を育成します。さらに既習漢字を使って、文章を書く指導をします。 ・根拠に沿って文章を読み、想像し、自己の考えを形成できるような児童を育成します。 		
	算数	<ul style="list-style-type: none"> ・二位数のたし算やひき算の計算(筆算)の定着を目指します。そのために必要に応じて、計算ドリルに繰り返し取り組ませ、繰り上がり、繰り下がりの学習の定着を図るとともに、計算のスピードが速くなるようにします。 ・量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて視覚的にわかりやすくするとともに、日常生活でも活用することで定着を図ります。 ・かけ算の学習では、全員が1の段から9の段までの九九を確実に覚えられるようにします。そのために、各段を10秒で言うテストを実施したり、授業前にフラッシュカードを用いて九九を確認したりする活動を行います。 ・年度末までに、ドリルの答えを見たり、友達の発表を聞いたりして、自分で答え合わせができるように指導します。 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マイブックを常備し、空いている時間には読書に親しみ、読書目標の100冊の達成を目指します。 ・読書科では国語や生活科と関連させながら、読書科ノートを活用し、調べる学習を年間12時間行います。粘り強く本を読み、本から必要な情報を見付け、まとめる児童を育成します。 ・パソコンに慣れ親しむ児童を育成します。パソコンの開始、終了を自ら行い、マウスの基本的な操作を習得し、絵や文字を入れた簡単な作品を作成します。 ・ふるさと学習では、特産物の花を使って寄せ植えを行います。生活科では、町探検をしたり、野菜や生き物を育てたりして地域の自然に触れ、その素晴らしさに気付くことができるようにします。様々な体験を通して、江戸川の文化や自然についての興味・関心を高め、SDGsの考え方に繋がるよう指導します。 		
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、自分の考えをもって解決できる児童を目指します。そのために、前時の復習を取り入れたり、既習事項を想起させたり、見通しをもって課題解決に取り組みませます。 ・自分の思いや考えをもち、ペア学習やグループ学習の際に、伝えることができる児童を目指します。また同じ意見、違う意見など、様々な意見を知り、相手の意見を尊重する態度を育成します。 ・ノートで思考の整理ができる児童を目指します。どの単元においても、問題、めあて、自分の考え、まとめ、学習感想など、1時間の学習の中で問題解決の過程が分かるノートの作成ができる児童を目指します。 			
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を自分から進んでできる児童を目指します。 ・話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見て、終わりまで聞くことを指導します。また「声のものさし」を掲示し、声の大きさを目的に合わせて変えられるよう、指導します。 ・家庭学習を毎日30分(学年×15分)取り組むことを目指します。また、家庭学習の提出率を9割以上を目指します。そのために毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自主学習もできるよう、「家庭学習の手引き」を活用して、指導に当たります。 ・チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を毎日全員が、100%できることを目指します。朝の会では、担任から1日の流れを伝え、予定を掲示しておくことで、見通しをもって行動できる児童に育てます。 			